

(2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野(5) 生涯学習

施策の方針② 学習環境の整備・充実

< 目標とすべきまちの姿 >

生涯学習センター、図書館など本市の生涯学習施設が充実し適正に整備され、利用しやすい魅力ある施設となっています。また、市民が自らの学習内容にあわせて、本市の生涯学習施設、関係機関、学校、民間施設などを効果的に活用することができるなど、学習の場が十分に確保されています。毎年、多くの市民が生涯学習センターを利用し、自らの興味関心にそって自発的に学習する習慣が広がっています。

1 事業評価結果一覧表

教育部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
教育-12	吉屋信子記念館管理運営事業	2,423	10,791	1.1	b	A
教育-13	生涯学習センター管理運営事業	151,434	189,472	5.0	b	A
教育-40	市史編纂事業	2,201	3,719	0.2	b	A
教育-41	図書館管理運営事業	123,235	296,294	22.8	b	A

2 平成26年度末の目標

教育部

生涯学習センター、図書館等の生涯学習施設を適正に管理し、効率的な運営に努める。
市民が自発的に学習するための環境を整備し、学習意欲の醸成を促す。

3 平成26年度の取組の評価

教育部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

施設の老朽化等も踏まえ、修繕等を行いながら生涯学習施設の効率的な活用を図った。
図書館資料の充実を図り、情報の収集、発信に努めた。

4 今後の方向性

教育部

生涯学習センターや鎌倉国宝館等の生涯学習施設に加え、関係機関や学校と連携し、環境整備を図る。
鎌倉市公共施設再編計画との整合性を図りながら、サービス向上に努める。

5 平成27年度末の目標

教育部

生涯学習施設の適切な管理を行い、利用しやすく快適な学習環境を提供する。

鎌倉市民評価委員会の評価

1 評価できるところ

- ・吉屋信子記念館の管理運営にあたり、一般公開の増加した結果を検証するなど、問題の把握に努め、問題の解決についても効率的、計画的に実施しようとしている。
- ・公文書管理法など法律と図書館のデジタル化の意図などを踏まえ、現在しなければならない事業を的確に把握し解決に向け努力している。
- ・図書館の管理運営において、ボランティア等市民との協働により、ニーズに応じて事業を推進している。
- ・市民の自発的な学習の場が提供されている。

2 課題・提言

- ・各事業において、指標が「設定されていない」「設定されているが、効果を計るには不適當」等が見受けられるため、各事業の「意図」や「効果」が明確に計れる指標を設定して頂きたい。
- ・生涯学習団体が多く、場所の確保に苦労している。学習の場のニーズは高まっている。民間施設を含め検討されたい。
- ・生涯学習センターの管理運営において、センターの管理しか実施事業が見られないが、本事業はセンターの「管理」のみならず、「運営」も担っているため、運営事業についても実施して頂きたい。また、事業の「意図」や「効果」を達成する取組が見受けられない。
- ・図書館振興事業が市民等との協働ですすすめられているが、市民にとって身近な場所となるよう、更なる工夫をお願いする。
- ・図書館のデジタル化にあたっては、業務の負担増にはなるが、国立国会図書館のデジタル資料利用施設の登録をしてはどうか。また、著作権処理には高度な専門性が必要であるため、周辺の自治体と協力し、著作権を一括処理する共同体を設けてはどうか。